

令和6年度 網走東部森林室立木販売重点目標

網走東部 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進 (①)

オホーツク東部地域においては、多くの木材加工業者が存在し、道有林材においても様々な用途で活用されているところである。

当管理区は、全域において森林認証を取得していることから、引き続き、森林認証取得者限定入札を行い、森林認証材の安定供給により認知度向上を図る。

また、トドマツ天然林不良木の有効利用を図るとともに地域材の高付加価値化を促進するため、昨年に引き続き協定販売により材を供給する。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

地域における木質バイオマスのニーズを把握するとともに、低質材や林地未利用材を次の取組みにより安定的に供給する。

(1) 小径材を主体とするアカエゾマツ人工林等について、一般材の適正な利用と低質材の木質バイオマスエネルギー燃料としての有効活用を図ることを目的として立木販売を実施する。

(2) 追上げ材等の林地未利用材を活用するため、立木買受業者及び木質バイオマス需要者と連携し燃料材の安定供給に努める。

3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)

(記載例)

(1) 総販売量

67,600 m³

○一般競争入札

46,600 m³

○うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)

2,400 m³

○協定販売

m³ (うち新規 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
m ³	m ³	m ³	m ³

○長期安定供給販売

m³ (うち新規 m³)

○伐採・造林複合協定型森林整備事業

m³ (うち新規 m³)

○その他販売

21,000 m³

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。